

海外安全対策情報

1 社会・治安情勢

ハワイは、世界有数の観光地であるため、治安の悪化が観光業に与える影響が大きいことを警察当局も十分に認識し、治安維持に全力を挙げています。成熟した多民族社会でもあるハワイは、他の州に比べて治安は良好な方と言えます。他方、全米の中でも厳しい銃規制等がありますが、ハワイ州も銃社会アメリカの例外ではなく、多くの市民がけん銃を所有しており、銃の登録件数も年々増加、2013年は6万件以上の登録がありました。こうした背景から、銃器を使った犯罪も毎年数十件発生しています。最近では、凶器を使用した強盗事件が多発しており、このようなことから、ハワイは米国の一つの州に変わりないという認識を持って当地に滞在し、または居住される場合も、ハワイは日本と同程度に安全であるなどと決して過信することなく、防犯対策を十分に講じてください。また、当地は一年を通して気候が温暖なこともあり、ホノルル市内の公園や路上等で生活しているホームレスが年々増加しており、彼らによる犯罪も発生していることから、注意が必要です。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) FBIの2014年犯罪発生統計によると、当地における総犯罪発生件数は46,977件であり、前年に比較して約1.2%の微増でした。内訳は、殺人や強盗などの凶悪・粗暴事件が3,680件(前年比約0.4%増)、財産犯罪(窃盗)が43,297件(前年比約1.1%増)です。なお、犯罪種別での内訳は以下のとおりです。

殺人	26件
強姦	445件
強盗	1,107件
傷害	2,102件
侵入盗	7,778件
車両盗	3,879件

(2) 日本人被害事案

2015年7～9月の間に、日本人が凶悪犯罪に巻き込まれた事件としては、ひったくり被害の際に転倒して負傷した事件や、拳銃様のものを突きつけられて財布等を強取された事件が報告されています。また、一般犯罪としての窃盗被害が21件報告されています。

特に、観光客に人気のビーチ等における車上狙い被害が10件報告されており、

全体の半数を占めています。中には、車を離れて10分程度で被害に遭った事案も報告されていますので、たとえ短時間の駐車であっても、車内に貴重品や旅券を残さないよう十分注意する必要があります。また、ワイキキ地区、アラモアナ地区、チャイナタウンやダウンタウンでは、ひったくりや置き引き被害に遭う例が後を絶ちません。外出する際は、不必要に多額の現金や貴重品を持ち歩かないようにしてください。

(3) 日本人以外の主な犯罪事件

ア 7月

13日夜、ハワイ島ノース・コハラ地区において、男が女性と警察官に発砲する事件が発生し、殺人未遂容疑で逮捕された。警察は動機等を捜査中。

イ 8月

18日夜、オアフ島 H-1 幹線道路上において、走行中の車両がガードレールに接触して転倒、同乗の女性が死亡、他の同乗者も重傷を負う事故が発生し、運転していた男性が警察に逮捕された。

ウ 9月

21日白昼、オアフ島カピオラニ公園において、男が女性に拳銃のような物を突きつけ、貴重品を強取した。3日後、警察が逃走中の男を逮捕した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

7～9月の間、テロ・爆弾事件の発生は、報告されていません。

4 誘拐・脅迫等事件発生状況

法執行機関を装い、不正サイトの閲覧があったとパソコンをロックし、解除したければ300ドルを支払うよう要求し、金銭を詐取される被害が発生しています。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

近年、観光地を含む世界各地で国際テロ活動が拡大しているものの、ハワイでは現在までのところ、テロ・誘拐事件等が発生する可能性は比較的低いと見られています。